令和７年９月（９月号）

松江市出雲玉作資料館

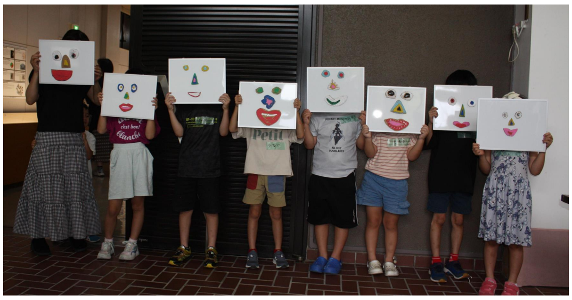
資料館だより

松江市出雲玉作資料館発行
〒699-0201　松江市玉湯町玉造 99-3
開館時間９時～17時（入館は 16：30 まで）
休館日；月曜日・休日の翌日 TEL・FAX（0852）62-1040

■ロビー展ワークショップ【田中敬二と作るダンボールアート】８月９日（土）実施

①ダンボールで目・鼻・口を作り、それぞれに磁石テープを裏に張り付けます。

②色付けをして、パネルに顔のパーツを自由に配置し色々な表情を楽しみました。

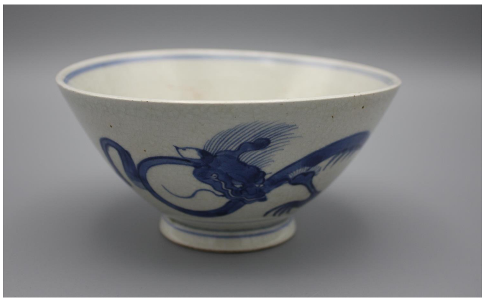


お父さん、お母さん、おばあちゃんと一緒に”ものづくり”を楽しみました。

■博物実習生さん２名が来館　８月２０日（水）

島根大学３回生の学生さん２名が、歴史館の新庄学芸員さんと他館見学で来館されました。片岡館長の案内で１階と２階を熱心に見学されました。

■今月の一品　**作品名：染付龍文碗**　**制作者**：久村焼　1827 年～1836 年　**制作年代**：不明



久村焼は現出雲市多伎町の長沢山に磁器窯で日常雑器を焼いていました。ところが、まもなく資金繰りに困り、３年後松江藩に経営を移譲。松江藩は経営規模を拡大し、窯を増築し、勘定所や職人小屋などの施設を整備しました。開窯当初は素地が褐色を帯びたり、呉須の発色があまり良くありませんでしたが、陶工たちの尽力により次第に良品が生まれるようになりました。

しかし、藩窯になってわずか７年後に廃窯となり、現松江市東出雲町にあった同じ藩窯の意東焼に吸収合併となりました。

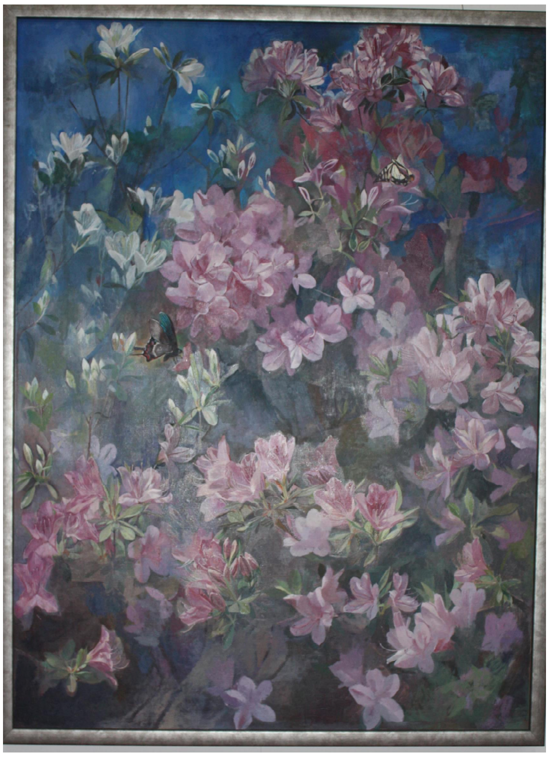
この椀は口径約 15 cm、高さ７cmで、低い高台の付く大型の椀です。素地はやや灰色がっかていますが、外面には鮮やかな染付で龍と渦巻紋が描かれ、見込みにも染付の文様がみられます。底部の内側にも染付で久村焼と記してあります。

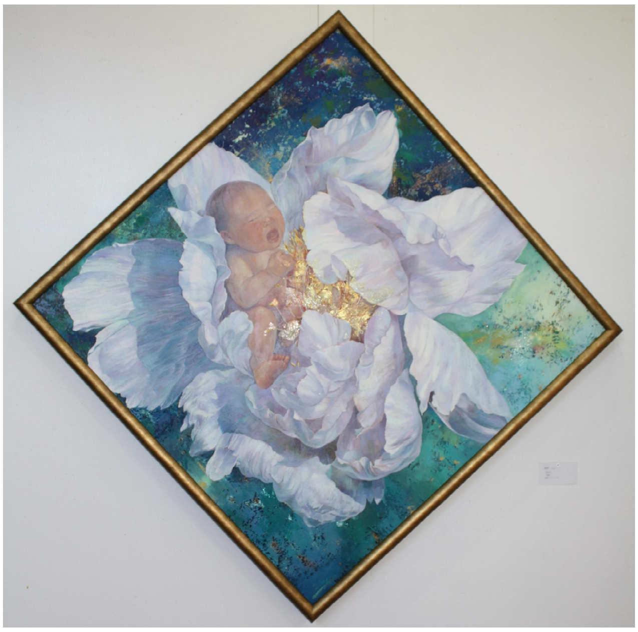
◆受付横に展示しています。

■9 月のロビー展　　無 料　　**出雲玉作資料館友の会主催**

伊藤　はるか　油絵　展

９月３日（水）～９月30日（火）

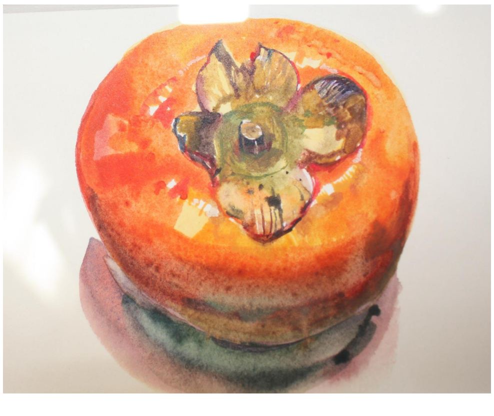




■【**休館日**のお知らせ】

9/1(月) 9/8(月) 9/16(火) 9/22(月)
9/24(水)～9/26(金)
9/15(祝・月) 9/23(祝・火)は開館します。

……

■10 月のロビー展は瀧野一夫【水彩画】です。